

# 平成18年度 公共用水域水質測定結果の概況

平成19年12月  
環境省水・大気環境局 水環境課

## 1. 平成18年度公共用水域水質測定結果の要点

- 健康項目の環境基準達成率については、17年度に比べ0.2ポイント改善。

主要項目の環境基準達成率

(単位: %)

- 生活環境項目のうち、BOD、COD<sup>1</sup>については、17年度に比べ
  - ・河川、湖沼では達成率が上昇
  - ・海域では低下
  - ・全体では2.9ポイント上昇全体の達成率は、過去最高の水準となった。

項目	平成18年度	平成17年度	ポイント差	
健康項目	99.3	99.1	0.2	
BOD・COD	全体	86.3	83.4	2.9
	河川	91.2	87.2	4.0
	湖沼	55.6	53.4	2.2
	海域	74.5	76.0	1.5
全窒素及び全燐	湖沼	45.9	46.6	0.7
	海域	80.3	82.2	1.9

- 生活環境項目のうち、「全窒素及び全燐」の達成率は、17年度に比べ、湖沼、海域ともに低下。

### 指定湖沼

COD	0.0	0.0	-
全窒素及び全燐	7.7	7.7	-

- 指定湖沼<sup>2</sup>については、
  - ・CODについて環境基準を達成した湖沼はない。
  - ・全窒素及び全燐については、1湖沼(野尻湖)で環境基準を達成。

### 閉鎖性海域

COD	68.0	70.6	2.6
全窒素及び全燐	87.7	91.8	4.1

- 閉鎖性海域<sup>3</sup>では、COD、全窒素及び全燐ともに、17年度に比べ、達成率が低下。

1 BOD、COD:有機汚濁の代表的な指標である。BOD(生物化学的酸素要求量)は河川に、COD(化学的酸素要求量)は湖沼・海域に適用される。

2 指定湖沼:湖沼水質保全特別措置法に規定される釜房ダム貯水池、霞ヶ浦、印旛沼、手賀沼、諏訪湖、野尻湖、琵琶湖、中海、宍道湖、児島湖の計10湖沼。

3 閉鎖性海域:水質汚濁防止法第4条の2に規定される指定水域。具体的には、東京湾、伊勢湾、瀬戸内海。

## 2. 健康項目の環境基準の達成状況

- 18年度における健康項目26項目に係る環境基準達成率は、99.3% (17年度:99.1%)となっており、ほとんどの地点で環境基準を達成。
- 環境基準を超過した地点は河川で最も多く、海域では、超過した地点はない。
- 環境基準未達成地点における未達成原因の過半は、自然由来によるもの。

調査対象地点数	環境基準値を超える地点数	環境基準達成率 (%)
5,487	39	99.3



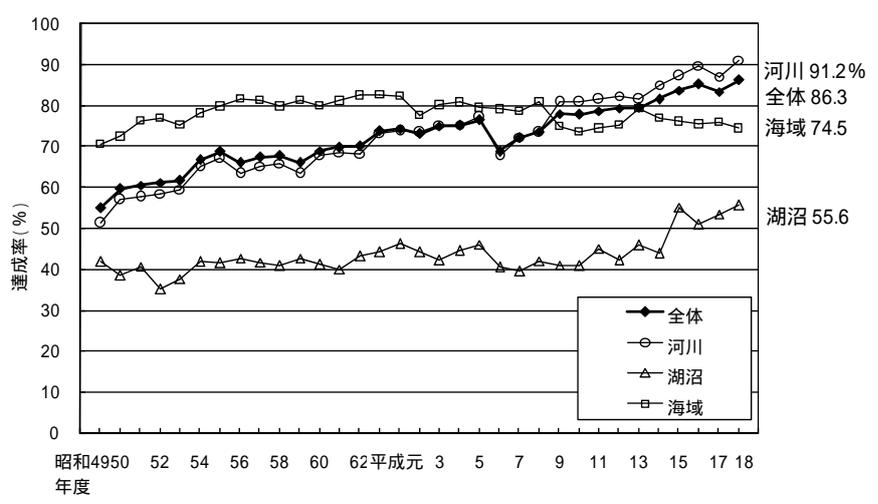
項目	河川	湖沼	海域	計	うち自然由来
鉛	6	1	0	7	3
砒素	19	2	0	21	13
1,2-ジクロロエタ	2	0	0	2	0
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	4	0	0	4	0
ふっ素	7	0	0	7	6
合計	36	3	0	39	22

同一地点において複数項目の環境基準を超えた場合には超過地点数を1として集計

## 3. 生活環境項目の環境基準の達成状況

- BOD、CODの環境基準達成率を長期的にみると、全体では、上昇する傾向。
- 河川では湯水年には低下も見られるが、総体としては上昇する傾向。
- 一方、海域では、近年概ね横ばいで推移。また、湖沼においては、近年、改善の兆しがみられるものの、達成率そのものが依然として低い状況。

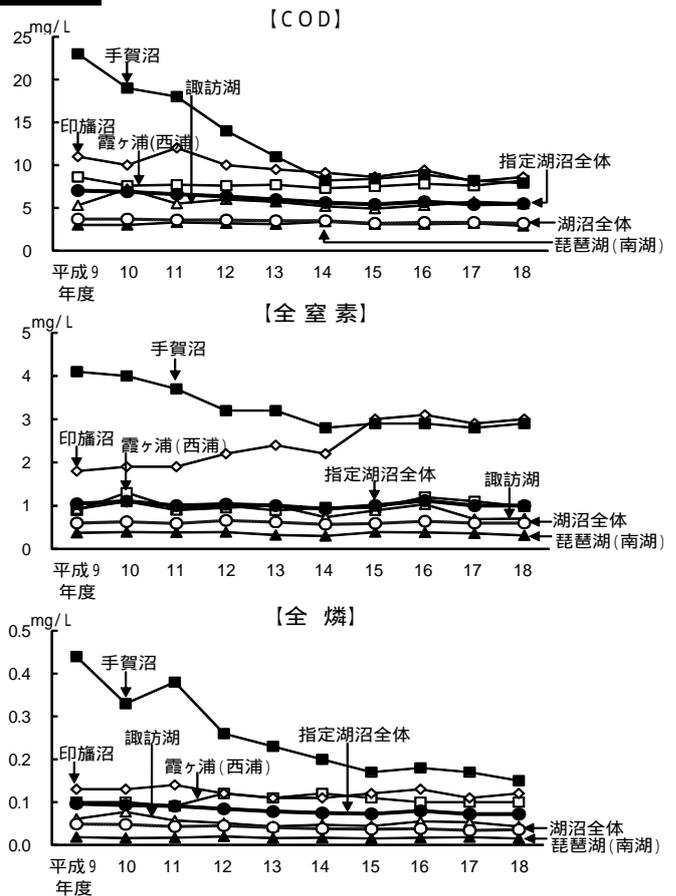
環境基準 (BOD、COD) 達成状況の推移



## 4. 指定湖沼における水質の状況

### 主な指定湖沼における水質の推移

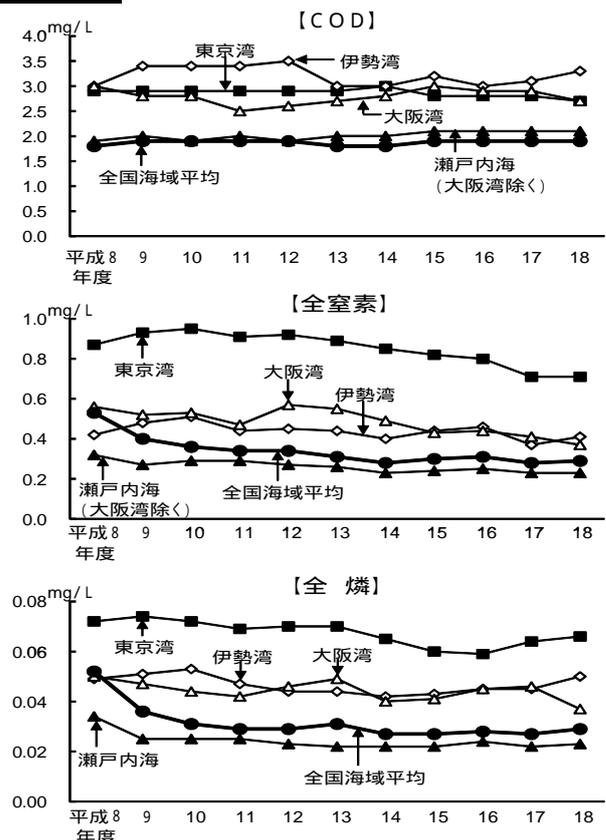
- 指定湖沼においては、湖沼全体に比べ、COD、全窒素及び全燐の濃度が高い。また、水質改善は、指定湖沼全体としては停滞。  
(注)水利用の目的に応じて、目標とする水質の基準が湖沼ごとに決められている。
- 指定湖沼を個別にみると、この10年間に水質が大幅に改善した湖沼(手賀沼(千葉県))や湖沼全体よりも良好な水質を維持している指定湖沼(琵琶湖等)もみられる。
- 指定湖沼における一層の水質改善を図るために、
  - ・流出水対策地区の新設
  - ・負荷量規制の既設事業場への適用
  - ・湖辺環境保護地区の新設
 等を内容とする改正湖沼水質保全特別措置法が18年4月に施行。



## 5. 閉鎖性海域における水質の状況

### 閉鎖性海域における水質の推移

- 東京湾、伊勢湾及び大阪湾においては、COD、全窒素及び全燐の水質の濃度が高く、水質改善が不十分な状況。
- 他方、大阪湾を除く瀬戸内海においては、全窒素及び全燐の濃度レベルは低く、CODについても、他の閉鎖性海域に比べ低い水準。
- これらの海域においては、引き続き水質総量規制を実施することとされており、19年6月に、21年度を目標年度とする第6次水質総量規制が開始されたところ。



# 6. BOD濃度又はCOD濃度のベスト/ワースト5

## ベスト5

(1) 河川 (BOD、mg/L)

順位	類型指定水域名	都道府県名	年間平均値
1	駒込川上流	青森県	<0.5
"	尾添川下流	石川県	<0.5
3	駒込川下流	青森県	0.5
"	神流川(1)	群馬県	0.5
5	堤川下流	青森県	0.6
"	日向川	山形県	0.6
"	北川上流	福井県	0.6

(2) 湖沼 (COD、mg/L)

順位	類型指定水域名	都道府県名	年間平均値
1	鐘畑ダム	秋田県	0.5
2	支笏湖	北海道	0.6
3	磐梯五色沼湖沼群	福島県	1.0
4	沼沢湖	福島県	1.5
"	草木ダム(草木湖)	群馬県	1.5
"	有峰ダム貯水池(有峰湖)	富山県	1.5

## ワースト5

(1) 河川 (BOD、mg/L)

順位	類型指定水域名	都道府県名	年間平均値
1	南部川(古川)	和歌山県	1.8
2	菩提川	奈良県	1.3
"	報得川	沖縄県	1.3
4	春木川	千葉県	1.2
"	見出川	大阪府	1.2
"	大門川	和歌山県	1.2

(2) 湖沼 (COD、mg/L)

順位	類型指定水域名	都道府県名	年間平均値
1	佐鳴湖	静岡県	1.1
2	伊豆沼	宮城県	9.0
3	八郎湖	秋田県	8.8
4	印旛沼	千葉県	8.6
5	北浦	茨城県	8.4